

国立国語研究所学術情報リポジトリ

敬語接頭辞異形「お～」 「ご～」 両者の用例のある語について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): UniDic, Web Corpus, Aozora Bunko 作成者: 服部, 匡 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001670

敬語接頭辞異形「お〜」「ご〜」両者の用例のある語について

服部 匡 (同志社女子大学)

Words Occurring with Both Variants of Honorific Prefix: *o-* and *go-*

Tadasu Hattori (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

要旨

「お〜」と「ご〜」のどちらも伴う語の存在が知られているが、コーパスでの網羅的調査が従来なかった。青空文庫・新聞記事データベース・自作ウェブコーパスを用いた探索により、多数の語を発見した。各コーパスでの両者の使用傾向について、いくつかの観点からの観察を示す。

1. はじめに

敬語接頭辞オ/ゴの選択はある程度は語基の語種に依存し、漢語にはゴ、和語にはオがつくのが規範的パターンであるが、「お電話・お約束」「ごゆっくり・ごもっとも」のように双方向の例外があり、また、「返事」のように、オもゴも用いられる語があると言われる。しかし、実際の使用についての網羅的調査が行われていない。

本研究では、青空文庫・新聞記事・自作ウェブコーパス¹を用い、オとゴの両方の用例のある語を探索した。

2. 先行研究の概要

松下(1930)は、「御丈夫」「御立派」「御試験」など「お」「ご」両方にいふものも多少あるが、其れも前後の関係で大體は分かる。何となれば「お」は平易な語で「ご」は莊重な語であるからである」と述べている。

柴田(1957)は、アクセント辞典から抽出した 4,830 語について、オ/ゴをつけるのがおかしいかを 18 名に問う調査を行い、特にオ/ゴ許容率の高い 50 語のうち次の 14 語で、許容する回答がオ/ゴの両者にあったという。

(1) 馳走, 主人, 病氣, 誕生, 都合, 祝儀, 出席, 援助, 商売, 食事, 仏前, 焼香, 高名, 気分

『明鏡国語辞典』編集部による 2004 年のアンケート²で、調査した 30 語のうち、「どちらかが圧倒的に優勢というのではなく、ゆれが見られるもの」は次の 6 語である。

(2) 誕生, 返事, 相伴, 入り用, 礼状, 葬儀

また、「どちらでもよい(場面によって使い分ける)」との回答の比率が比較的多かったのは、次の 5 語である。

(3) 返事, 誕生, 予算, 相伴, 礼状 (比率が高い順)

井上(1999)は、「以前は『ご』が付いていた漢語に最近『お』が付きはじめた」例として「入学」「受験」「葬儀」を挙げている。また、規範的観点からの書物であるが、奥秋(2007)

¹ 国語研日本語ウェブコーパスは、公開 N-gram に「お」で始まる 2gram が欠落しているなどの不備があり、網羅的調査に利用できないが、特定用例の観察には利用した。浅原正幸氏によれば今後も N-gram の改善の予定はないとのことである (2018.6.6 付)。

² http://www.taishukan.co.jp:80/meikyo/0404/0404_top.html (現在は公開停止)。北原(2004)にも一部が掲載されている。

がテレビ番組での発話で、次の15語の「不適当な」オの使用例を報告している。

- (4) 臨席, 出産, 注意, 遺族, 冥福, 自宅, 加入, 紹介, 遺体, 家族, 出発, 勝手(に), 返送, 両親, 担当

新聞・雑誌の語彙調査(国語研究所)に基づく分析を示した田中(1972)は、両形とも出現する語は「都合」「利息」程度しか発見できなかったという。

両形の選好について、大石(1975)は、女性はオを好む傾向があると言い、「通知」「返事」の例を挙げる。また、菊地(1994)は、「ご返事」「お返事」では、前者が尊敬語・謙譲語A、後者が美化語(たとえば幼稚園言葉)という使い分けの傾向が認められるという。

3. コーパスでの出現状況

使用したコーパスは次の通りで、どれもテキストデータである。

『青空文庫全』(2007)DVD 収録作品³ 約 172MB 著者数 327 作品数 6,367
 読売新聞記事データ集 1987-2014年 約 6.5GB
 自作ウェブコーパス 2010年1月構築 約 100GB

原データと、それを UniDic+MeCab で解析したデータを用いて探索した。青空文庫については、必要な場合、現在公開の xhtml ファイルによりルビも参照している。

なお、3つのコーパスは総データ量が異なり、また、調査に当たり、語を選別した基準(出現回数等)も異なるので、発見された語数の比較には意味がない。

以下でいう「{お/ご}~」の出現数やその比率とは、平仮名表記されている例の中での数値である。「御」と漢字表記される例は、読み(「お・おん・ご」など)が決められないため対象から除外している。従って、すべての例の中での書き手の意図する音形の比率は不明である。

探索にあたっては、オ/ゴを伴う形式の敬語上の機能(尊敬語・美化語など)や統語的性質は問わない。また「お勝手(=台所)」「お勝手に(=随意に)」のように明白に別語とみなしうる場合を除いては、意味的区分も行っていない。

同語の異表記は可能な限り統合した(例:返事・返辞・へんじ)。また、次のように読みの確定できない用例のある語は対象から省いたが、不徹底である。

- (5) 名代(なだい・みょうだい) 微行(ちようこう・しのび) 供物(くもつ・そなえもの) 入用(にゅうよう・いりよう) 両親(りょうしん・ふたおや)

3.1. 青空文庫の場合

「{お/ご}~」両者の用例のある形式は、少なくとも173に昇る。それらを「オ使用者数 / (オ使用者数+ゴ使用者数)」によって分類すると、次のようになる⁴。その形で始まる複合形式も含んだ数値である(例:ご家来衆、お誕生日)。この点は以下同じ。全例目視確認した。

- (6) 80%以上のもの

愛嬌, 医師, 加減, 勘定, 客来, 綺麗, 景物, 元気, 言伝, 行列, 講義, 沙汰, 支度, 慈悲, 手配, 女中, 焼香, 丈夫, 食事, 政治, 台所, 大切, 大名, 誕生, 茶屋, 念仏, 奉行, 模様, 夕飯(ゆうはん/ゆうめし?), 立派, 料理, 牢

- (7) 20%以下のもの

ゆっくり, ゆるり, 挨拶, 安心, 案内, 遠慮, 機嫌, 近所, 苦心, 苦勞, 婚礼, 災難, 持参, 自身, 自分, 冗談, 心配, 先祖, 相談, 注文, 亭主, 都合, 披露, 秘蔵, 病気, 満足, 無事, 迷惑, 厄介, 用意, 立腹,

- (8) その他(両形使用者数の計が5未満のものを含む)

³ 生年の分かる日本語著者・翻訳者に限定し、同一人の異名による重複を省いたもの。

⁴ あくまで青空文庫収録テキストに関する調査であり用例もそれによる。厳密には、信頼できるテキストでの確認が必要である。

衣裳, 遺骨, 家中, 家来, 会积, 戒名, 活発, 看病, 癩癖, 奇特, 帰国, 気性, 気分, 祈祷, 記憶, 窮屈, 吟味, 決意, 検死, 検分, 見物, 後室, 公儀, 公方, 差配, 座所, 参詣, 散歩, 仕官, 支配, 時世, 次男, 自慢, 舍弟, 社参, 寿命, 修行, 住職, 祝儀, 出家, 出仕, 出馬, 出立, 書面, 助力, 勝手(に等), 商売, 将軍, 上申, 上人, 上達, 城下, 城中, 城内, 新規, 新造, 身代, 身分, 進物, 陣屋, 征伐, 政道, 接待, 説法, 詮議, 造作, 他言, 多分, 多忙, 打擲, 対面, 退屈, 大層, 堪能, 茶寮, 寵愛, 調度, 直参, 定紋, 登城, 同行, 同道, 道理, 得心, 内室, 難儀, 年始, 能面, 配下, 番士, 番所, 臍眞, 非番, 病人, 不在, 返事, 勉強, 法事, 本寺, 冥加, 名物, 面前, 遊山, 様子, 用談, 来客, 利用, 路地, 浪人, 牢屋

同一著者の両形使用

次のように、同一著者が同一語に「お〜」「ご〜」の両方の形を用いている場合がある⁵。

(9) 「おい君、お父さんは近頃どうしたね。相変わらずお丈夫かね」（夏目漱石 1867- 明暗）

(10) 「あなたは太分ご丈夫のようすな」（同 坊ちゃん）

(11) そのうちに、弟のお機嫌をとるために、あなたの著書を弟から借りて読み、（太宰治 1909 - 斜陽）

(12) 先生のご機嫌をとろうと思って、先生の座談はとても面白い、ちょっと筆記させていただきます、と（同 黄村先生言行録）

(13) 仲哀天皇は、ある年、ご自身で熊襲をお征伐におくだりになり、筑前の香椎の宮というお宮におとどまりになっていらっしやいました。（鈴木三重吉 1882- 古事記物語⁶）

(14) お社をお作りになって、今度のご征伐についていちいちお指図をしてくださった、底筒男命以下三人の神さまを、この国の氏神さまにお祀りになった後（同上）

著者ごとに、両方の形を用いている語の数を示すと少なくとも次の数になる。

(15) 佐々木味津三 63, 国枝史郎 7, 鈴木三重吉 6, 宮沢賢治 3, 倉田百三 2, 太宰治 2, 菊池寛 2, 夏目漱石 2, 宮本百合子 1, 岡本綺堂 1, 楠山正雄 1, 葛西善蔵 1, 辻村もと子 1

中でも、佐々木味津三(時代小説家、1896~1934)は、(16)の 63 形式に対して「{お/ご}〜」の両形を用いているが、それらは、想像による“疑似江戸語”の形を含む疑いがある(そうしたことはオ/ゴ以外にもあるかもしれない)。国枝史郎も同傾向が見える⁷。

(16) 案内, 奇特, 気性, 祈祷, 記憶, 吟味, 検分, 見物, 後室, 公儀, 公方, 行列, 差配, 沙汰, 座所, 災難, 仕官, 支配, 慈悲, 持参, 時世, 自身, 自分, 社参, 住職, 祝儀, 出仕, 出馬, 書面, 助力, 将軍, 上人, 城下, 城中, 城内, 身分, 進物, 陣屋, 詮議, 相談, 多忙, 大名, 堪能, 茶屋, 茶寮, 寵愛, 直参, 難儀, 年始, 能面, 配下, 番士, 番所, 披露, 秘蔵, 奉行, 本寺, 名物, 面前, 遊山, 様子, 牢, 牢屋

佐々木が同一作品中に二つの形を混用している例を挙げる。

(17) かりにもお将軍家お秘蔵と名のつく品なんですから、お箱の結構壮麗はいうまでもないことなので、（右門捕物帖 明月一夜騒動）

(18) 上さまご秘蔵のご名宝が紛失いたしたとあつては捨ておかれませぬゆえ、いかにもお力となりましょう（同上）

各著者が「{お/ご}〜」の形で用いる語数のうちで両者用いる語の比率が知れるとよいが、

⁵ 漱石の「お機嫌」は、大阪人の「さいなら、お機嫌よう」という発話を写したもの(行人)であるように、必ずしも著者自身の言い方でないと考えられるものも含む。

⁶ 子供向けの書物ということが両形使用に関係するかもしれない。

⁷ もっとも、「来客」という語では、佐々木はオのみ 3 回、国枝はゴのみ 4 回用いている。

求めていない。

3.2. 現代の新聞の場合

「{お/ご}～」あわせて10回以上出現する形式のうち両者の用例のあるものは、少なくとも40ある。それらにおける「{お/ご}～」の内訳は次のようになる⁸。全例目視確認した。

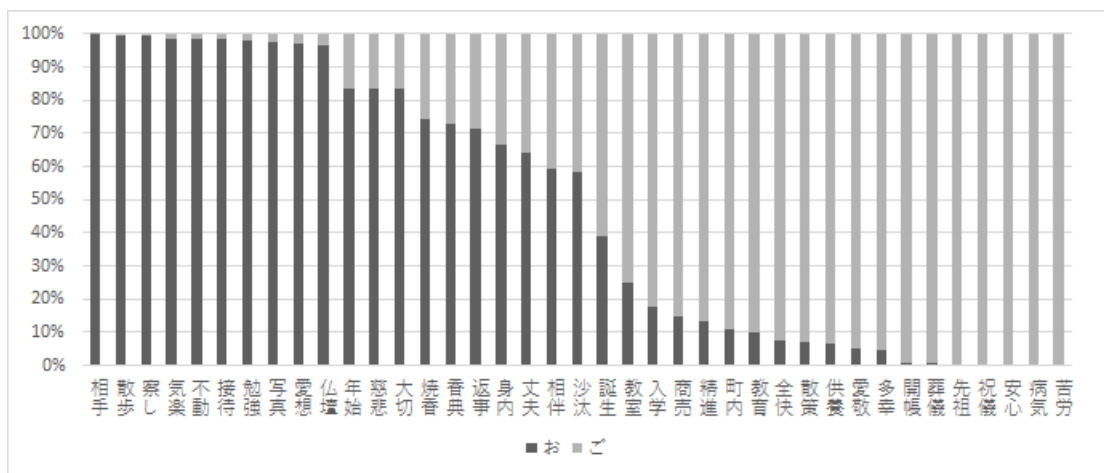


図1 「お〜」と「ご〜」の比率

左右両端近くの語では片方の形が100%のように見えるが、実際には他方の形が少数ある。「少なくとも一方の用例がある語」の総数は不明である。

仏事・慶弔事関連、教育・学習関連など、ある程度共通点のある語群が見られる。

二字漢語動詞の尊敬語形式

当該用例のある「誕生・入学・散歩・散策」で、尊敬語「{お/ご}〜になる」の形(諸活用形を含む)の例のすべてはゴを伴っている(例の数は順に8, 2, 1, 1)。例えば「散歩」では、全体としては次のように「お」に大きく偏っているが、「{お/ご}散歩になる」の形だけを取るとゴの1例がすべてである。なお、ウェブコーパスでは語によりオの例も見られる(次節)。

	お	ご
散歩	343	1

(19) 先帝陛下(昭和天皇)は日曜にお子様を連れてご散歩になり、英国大使館に向いた土手の上から町の様子をご覧になった。(読売 1990.01.22)

(20) 昨年12月に敬宮愛子さまがご誕生になったことから「親子の情愛」をテーマに決め、香川県内の羊牧場で観察、構想を練った。(読売 2002.12.07)

3.3. ウェブコーパスの場合

自作ウェブコーパスにおいて、「{お/ご}～」あわせて100回以上⁹出現する形式で、少ない方の形に1%以上の使用があるものは、少なくとも131ある。それらにおける「{お/ご}～」の内訳は次のようになる。もっとも、ウェブコーパスはサンプリングによるものではなく、

⁸ 次のような言及例を含む。内容は興味深いものである。

(i) 道警によると、詐欺サイトでは、添えられた文言が「お安心の上お求め下さい」などと不自然な表記になっていたり、日本語では使わない記号が残っているケースが目立つ。外国人がインターネット上の自動翻訳サービスを利用して日本語サイトを作っているためらしい。(読売 2014.12.22)

⁹ ゴミが多いため、当該語が次の要素の直後にある例のみを数えた。

は・も・て・が・を・の・に・で・へ・から・にて・。・、・、・「・『

またそれ以前に、データには内容の重複や多くのゴミなどの問題があり(語ごとの観察により、特にゴミが多い語は省いているが)、数値の厳密な比較は意味がない。

(21) オの比率が90%以上のもの(高い順)

奉行、写経、言いつけ、仲人、達者、愛想、餞別、計らい、命じ、加減、生憎、給仕、指図、仏壇、灯明、誕生、貴族、盛ん、受験、信じ、ついで、名刺、追従、察し、精霊、訴え、年始、仏像、戒壇、返事、位牌、身内、加持、衣装、香典

(22) ゴの比率が90%以上のもの(高い順)

用事、次男、返礼、本堂、真影、拝読、落胤、立派、決意、住職、散策、加護、朝食、亭主、法事、用立て、披露、趣味、陽気、出現、母堂、健康、講話、見物、遺言、新造、真言、会食、伝言、休憩、開帳、納車、寺院、祝儀、支配、慈愛、配送、縁日、入学、気分、預金、身分、講義、町内、多幸、結納、機会、命日、火葬、仏前、試用、昼食、必要、遺骨、供養

(23) その他(オの比率の高い順)

大切、遊戯、修理、作品、慈悲、説、聴聞、口座、日記、上人、便利、使者、焼香、案じ、教化、手配、接待、導師、覚悟、勝手(に等)、城下、商品、説法、参詣、沙汰、相伴、商売、夕食、人数、祝詞、葬儀、精進、ミサ、料金、会釈、供花、祝辞、名義、講師、病気

オとゴとで意味や用い方の相違が明白なものもある。例えば「遊技(遊戯)」では「お～」の大部分は幼稚園などでの活動やそれに類したものを指す一方、「ご～」はほとんどがパチンコ店などから顧客に向けたもので、「ご遊技頂けます」「ご遊技をお楽しみ下さい」などが典型的である。なお「講師」は、オかゴかを問わず、ほぼ、宗教関係の文脈のようである。

一字漢語動詞連用形

「命じ・信じ・察し・案じ」で、オ/ゴ両形の使用が見られる。「～{になる/ください/遊ばす/なさる/いたす/申す/申し上げる/なさいます}」などの尊敬語/謙譲語動詞句を形成する例が大部分であるが、「察し」に関しては「～{だ/の通り}」などの用い方もある。

これらの動詞は先頭要素が字音形態素であるが、一語化してアクセントなどの面で和語単純動詞に近い性質を持つ。そうしたことが両用傾向に関連すると思われる。

二字漢語動詞の尊敬語形式

尊敬語動詞句「{お/ご}誕生になる」(諸活用形を含む)でのオ/ゴの比率は次のようである。

	お	ご
誕生	11	58

新聞の場合とは異なってオにも一定数の用例がある。

(24) 毎度、ご来店まことにありがとうございます。本日 9/6 (火) の秋篠宮紀子さまに親王殿下がお誕生になった慶事を祝しまして、お買い上げの皆様全員に、お米とお塩をプレゼントさせていただきます。

(25) クリスマスは、私たちの救い主イエス・キリストがお誕生になったことを喜ぶときです。

「朝食・昼食・夕食」「口座」など : 顧客に向けた使用

3種類の「～食」のどれにも、オとゴの両者の形が見られるが、出現傾向はかなり異なる。ゴの用例比率は、朝食(98.8%) > 昼食(91.1%) > 夕食(75%) である。

大まかな観察の限りでは、3語とも、飲食を供する施設や関係者による顧客向けの使用で特にゴの比率が高い。(26)はその例である。夕食は(27)(28)のように一般人のブログなどで話題になりやすい。ちなみに「食事」ではオの比率が99.96%、「会食」では2%である。

(26) まず、せっかく楽しみにお越し頂いた今回のご夕食にご満足頂けず、申し訳なく存じます。

(27) 今宵のお夕食は、京都・宮津から届いたばかりのブリでしゃぶしゃぶをしようとい

うことになった。

(28) 今日は19:30にみなさんで集まってお夕食しましょって約束になってる。

なお、「口座」のような語では、顧客向けであっても、オの方が多。低頻度のため計数対象外であるが、「通帳」「利息」など、金融機関で用いられる語に同類が多いようである。

(29) 商品解説に無き、破れ・書き込み等ありました際には御返却いただき、お客様の口座にご返金申し上げます。

「手配」「納車」「配送」は、客のために行う動作を指す例が多い語であるが、(先頭要素の)語種を反映して、「手配」はオの方が多く後の2語はゴの方が多い。

4. おわりに

オ/ゴ両者の用例のある語を3つのコーパスから報告し、いくつかの観察を示した。話者の知識において、個々の語にオ/ゴどちらかが結びつけられているわけでは必ずしもないと思われる。さらに、オとゴの機能差・使用レジスターの差異、統語パターンとの関連などの問題が残されている。

文 献

井上史雄 (1999) 『敬語はこわくない』 講談社.

大石初太郎 (1975) 『敬語』 筑摩書房.

奥秋義信 (2007) 『勘違い敬語の事典—型で見分ける誤用の敬語』 東京堂出版.

菊地康人 (1994) 『敬語』 角川書店.

北原保雄 (2004) 『問題な日本語—どこがおかしい? 何がおかしい?』 大修館書店.

柴田武 (1957) 「「お」の付く語・付かない語」 『言語生活』 70, pp. 40-49.

田中章夫 (1972) 「「オ」のつくことば・「ゴ」のつくことば」 『國文学 解釈と鑑賞』 5 月臨時増刊号, pp. 40-45.

松下大三郎 (1930) 『増補改訂 標準日本口語法』 勉誠社.